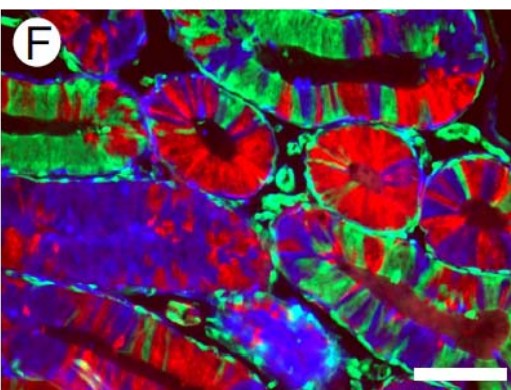
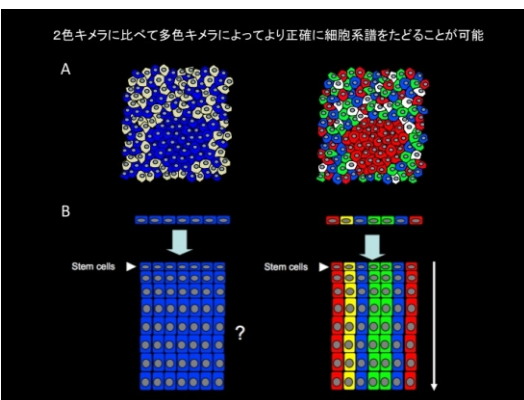
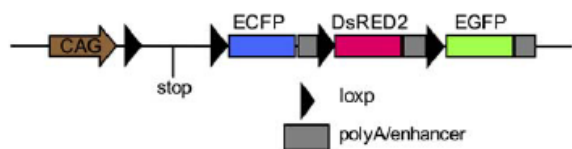


第3回腫瘍病理セミナー

マルチカラーキメラ法を用いた 幹細胞・発生研究

関西医科大学 病理学第一講座
上野 博夫 教授

上野先生は、東京大学医学部を1993年に卒業、東大・第三内科にて血液内科医としてのキャリアを積まれた後、がんセンター・スタンフォード大学などを経て、2010年より関西医大の病理学第一講座の教授として着任されました。留学前には、細胞内情報伝達の基礎研究を行われ、留学先では、GFP・RFPなどの蛍光蛋白質を発現するトランスジェニックマウスを用いたマルチカラー細胞系譜追跡法を開発し、様々な臓器の幹細胞を同定することを可能にしました。内閣府の「最先端研究開発プログラム」に採択されるなど、次世代を担う新進気鋭の若手研究者です。今回は、大学院セミナーとして、最先端の研究成果を紹介して頂くセミナーを企画しました。たくさんのご来聴をお待ちしています。



Ueno, PNAS 2009, Dev Cell 2006

日時：11月1日（木） 18時から
金沢医科大学病院 新館12階 大会議室

主催：病理学I清川 kiyokawa@kanazawa-med.ac.jp 内線 3611